

3年生 土曜特別講座を実施しました

令和5年2月11日（土）に中学3年生対象に土曜特別講座を行いました。コロナ前は各学年で実施していた企画ですが、3年生にとっては初めての講座です。

今回は、東京学芸大学附属高等学校校長の大野 弘 先生と、灘中学校・高等学校教諭の河内 一樹 先生を講師としてお招きしました。

大野先生は「自然界の平衡」というテーマで、化学における平衡状態について実験を交えてお話しくくださっただけでなく、社会における産業と平衡、自然界における平衡など、様々なスケールの平衡についてお話しくさ

いました。
生徒からは「変化がないときは、分解と生成がつりあっている状態と聞き、驚くとともにいろんなことに当てはめると大変興味深い」「学問では理想的な状態を考えるが、それを踏まえた上で実用的・工学的な内容を考えていくと別の視点になるのが新鮮でおもしろかった」などの感想がありました。

河内先生は「数学ゲームの必勝法を考えよう！」というテーマで、その戦略の方法やなぜ必勝法といえるのかということ、河内先生が伝授するのではなく、生徒たちの話し合いの中から発見するような授業を行ってくださいました。生徒たちは自分の仮説を試行錯誤しながら検証し、仲間たちと力を合わせてその必勝法を見出していました。

生徒からは「人間は昔からいろいろなゲームをしてきたが、そのゲームの穴を見いだして戦略を考えるというのはおもしろい」「操作の本質を考えることが重要だと分かった、どのように数学を学ぶべきかという理解が深まった」などの声が聞かれました。

生徒たちは学ぶ楽しさを再認識し、日常の学習への意欲も高まった様子でした。

